



世界遺産への登録をめざす

武家の古都・鎌倉ニュース

Vol.16

夏号/Summer 2010

第16号 平成22年(2010年)7月発行
発行：鎌倉世界遺産登録推進協議会
編集：広報部会 編集人：内海恒雄

◆ 鎌倉世界遺産登録推進協議会 平成22年度総会開催 ◆

新会長に松尾市長就任 養老前会長は特別顧問に



会長就任のあいさつに立つ松尾市長

2010年5月21日(金)、鎌倉商工会議所において、「鎌倉世界遺産登録推進協議会(以下「推進協議会」という。))の平成22年度役員会、総会が開催されました。

総会に先立って行われた役員会において、会長職の退任を表明していた養老孟司会長の後任に松尾市長が推薦され、全員一致で会長就任が了承されました。あわせて、平山郁夫画伯の逝去により空席となっていた特別顧問に、養老前会長が就任することも了承されました。

総会の第一部は、吉田茂穂副会長による挨拶で開会し、松尾市長の新会長就任、養老前会長の特別顧問就任が報告されました。

松尾新会長は就任の挨拶で「推進協議会の会長は養老前会長のように市民を代表される方に務めていただいた方がふさわしいと考える。養老先生の退任は非常に残念だが、世界遺産登録も大詰めの重要な時期に来ており、前会長の『さらなる発展のために、次の世代に引き継ぐべき』という思いを受け止め、新しい会長としてその任を全力で務めたい」と意気込みを語りました。

また、特別顧問に就任した養老前会長は「平成18年の設立以来、80を超える団体の参画を得て、広報活動などを積極的に展開してきました。こうした取組みの結果、市民の皆様のあいだにも世界遺産登録への意識が高まり、機運が熟してきたものと感じています。本推進協

議会のさらなる前進のためにも、会長職を次の世代に引き継ぐのが良いと思い、会長職を辞することといたしました。次期の会長を、行政職のトップであり、また若い世代である松尾市長に受け継いでもらうことは、推進協議会のさらなる飛躍に向けてふさわしいものと受け止めています。鎌倉の世界遺産登録については今後も支援をしていく気持ちであり、推進協議会では特別顧問としてバックアップしていく役割を担ってまいりますので、ご理解よろしくお願い申し上げます。」とのコメントが寄せられ、読み上げられました。

出席役員の紹介の後、議事は松尾会長によって進められ、内海恒雄広報部会長により、平成21年度の事業について、映像を交えて報告されました。続いて事務局より平成21年度の収支決算の説明、深山照世監事より監査報告があり、いずれも承認されました。

平成22年度の事業計画については奴田不二夫登録推進事業部会長から、平成22年度収支予算は事務局から説明があり、それぞれ承認されました。

続く第二部では、世界遺産登録推進に関する準備状況について、事務局より報告されました。映像資料を用い、これまでの登録に向けた取組みを振り返り、今後は年度内に国からユネスコへ登録の推薦がされるよう、推薦書の作成を国とともに進めていくことが報告されました。



推進協議会総会風景

◆第52回鎌倉まつり報告◆

「鎌倉の世界遺産登録をめざして」

今年も「鎌倉の世界遺産登録をめざして」をテーマにして、鎌倉の春を告げる鎌倉まつりが、鎌倉市観光協会・推進協議会主催で行われました。国内・海外から訪れたたくさんの観光客や地元の人々が沿道を埋め尽くしたパレード、毎年人気の寺社特別拝観めぐり、さらら鎌倉ホールをいっぱいにした「もっと知ろう！世界遺産」講演会など、推進協議会も全力で応援し、歴史と観光の都市鎌倉をアピールしました。

◎若宮大路「パレード」

4月11日(日)、心地よい春の陽のもと、鎌倉まつりの幕開けを飾るパレードが行われ、40団体、約2400名が参加しました。推進協議会から奴田不二夫登録推進事業部会長とともに参加したフランス大使館のジェラルドさんとサムエルさんは甲冑姿を披露し、「秋にフランスに帰り、母国の人に鎌倉の素晴らしさを伝えたい。ユネスコ本部にも鎌倉をアピールしたい」とうれしい言葉を頂きました。また県立鎌倉高校の生徒21名も沿道からの声援に笑顔で応え、若さと熱気あふれるパレードになりました。



◎寺社特別拝観めぐり

4月12日(月)～16日(金)、鎌倉の世界遺産候補地をめぐる寺社特別拝観めぐりが、推進協議会・内海恒雄広報部会長の案内により行われました。世界遺産候補地の寺社には、史跡や文化財などの通常公開されていない部分も含めた特別拝観をお願いし、そのご指導とご理解をいただきながら寺社本来の在り方に配慮した拝観の心得を守り、より望ましい特別拝観を実施しようというものでした。

4月12日寿福寺の仏殿の釈迦三尊像などと、浄光明寺の阿弥陀三尊像や覚賢和尚の墓などを特別拝観する予定でしたが、雨天で中止しました。

4月13日覚園寺では、副住職のご案内で愛染堂の愛染明王像、薬師堂の薬師三尊像、内海家住宅、地藏堂の黒地藏像などと、千駄地藏堂の千駄地藏像を特別拝観し、お茶をいただき感激しました。永福寺跡を見て、瑞泉寺では仏殿の釈迦如来・千手観音像などを特別拝観し、どこも(苦)地藏や庭園を拝観しました。



4月13日 瑞泉寺庭園

4月14日鶴岡八幡宮では、若宮の正式参拝をして社殿を特別拝観し、本宮の立派な本殿、宝物殿、室町時代の丸山稻荷社などを拝観しました。法華堂跡では、白旗神社や源頼朝墓を拝観しました。荏柄天神社では、拝殿で参拝し、脇から鎌倉時代の本殿を特別拝観しました。



4月14日 鶴岡八幡宮・丸山稻荷社



4月14日 荏柄天神社・本殿

4月15日建長寺では、仏殿・法堂・方丈などと、山門の釈迦如来や羅漢像、西来庵の昭堂や大覚禅師像、禅居院の聖観音菩薩・大鑑禅師像などをご住職などのご案内で特別拝観しました。



4月15日 建長寺